

## 令和7年度春日井市福祉有償運送運営協議会議事録

1 開催日時 令和7年11月14日（金）午前10時～正午

2 開催場所 市役所10階 1002会議室

3 出席者

### 【委員】

委員長	磯部 友彦	（中部大学）
副委員長	奥村 薫績	（春日井市内タクシー組合）
委員	日比野 聡	（名鉄バス株式会社春日井営業所）
	船戸 敬太	（春日井市内介護タクシー事業者）
	落合 鉄三	（春日井市民生委員児童委員協議会）
	安藤 洋子	（春日井市手をつなぐ育成会）
	輿石 真由美	（春日井市肢体不自由児・者父母の会）
	山縣 紀子	（社会福祉法人けやき福祉会）

### 【委員以外の出席者】

伊勢谷 修司 （国土交通省中部運輸局愛知運輸支局）

### 【事務局】

健康福祉部長	神戸 洋史
福祉政策課長	日原 理
同課長補佐	近田 政典
同主査	中山 裕也
同主任	池田 拳斗
都市政策課長補佐	熊澤 伸晃

4 議題

- (1) 春日井市における移動制約者及び移動支援の状況について
- (2) 福祉有償運送実績報告について
- (3) 自家用有償旅客運送事業者の更新登録について

## 5 会議資料

資料1 春日井市福祉有償運送運営協議会規則及び委員名簿

資料2 春日井市における移動制約者及び移動支援の状況

資料3 令和6年度福祉有償運送実績報告

資料4 福祉有償運送に係る自家用有償旅客運送事業者の更新登録について

## 6 議事内容

議事に先立ち、部長あいさつを行った。

中部運輸局愛知運輸支局運輸企画専門官の伊勢谷氏が会議へ出席することを周知した。委員長及び副委員長の選出を行い、委員長には磯部委員、副委員長には奥村委員が選出され、会議運営における協議会規則第6条第4項の規定に定める委員に日比野委員、安藤委員、興石委員を指名した。

議事録は要点筆記とし、各委員の確認を行ったうえ委員長及び副委員長が署名することを確認した。会議は原則公開とし、個人的な情報が必要な協議や審議については、その理由を明らかにし、一部非公開とすることとした。

### 議題1 春日井市における移動制約者及び移動支援の状況について

【中山主査】 資料2に基づき説明

### 議題2 福祉有償運送実績報告について

【中山主査】 資料3に基づき説明

【奥村副委員長】 サポートセンターふらっとの会員登録人数が0人、研修実施回数が0回であることについて、事務局より事業所サービス利用者の急な病院利用に備えて登録していると説明があったが、利用する可能性があるなら、研修を実施する必要があると思う。

【磯部委員長】 事務局としてこの点について把握していることはあるか。

【中山主査】 把握していない。議題3でふらっとへ質疑応答するので、その際に確認していただきたい。

【磯部委員長】 実車距離・輸送回数が令和5年度から大きく変化していない一方で、走行距離のみ大幅に増加している。この理由を事務局は把握しているか。

【中山主査】 けやき福祉会の走行距離が増加したものである。詳細は、けやき福祉会の理事長である山縣委員がいらっしゃるので直にご説明いただきたい。

【山縣委員】 けやき福祉会での福祉有償運送の利用用途は、通院が多い。以前は主に市内医療機関への通院で利用されていたが、昨今は名古屋市など市外医療機関への輸送が多くなったため、走行距離に影響したと思われる。

【奥村副委員長】 料金について、タクシー料金は今年 12 月に値上げすることとなっている。福祉有償運送は制度上タクシー料金と連動しているはずだが、料金変更を考える必要はないか。

【山縣委員】 この事業のみで収支を合わせることは難しい。この事業は赤字であるが、他の事業の余剰金で補うことが必要な事業だと認識している。

### 議題 3 自家用有償旅客運送事業者の更新登録について

更新登録に関する資料に個人情報の記載があるため、協議の結果、議題 3 については会議を非公開とした。

また、更新登録事業所の中に、山縣委員が理事長をされている社会福祉法人けやき福祉会が含まれているため、山縣委員は一時退室することとした。

(山縣委員・傍聴人 退室)

【中山主査】 資料 4 及び更新登録に関する資料に基づき説明

【磯部委員長】 更新事業者に対する、質問事項を検討したい。

【奥村副委員長】 サポートセンターふらっとについて、過去の実績及び研修実施について確認したい。伊勢谷専門官に問いたい。会員登録者がいなければ研修を実施する必要はないのか。

【伊勢谷専門官】 制度上は、運転者として、2 種免許を所有しているか福祉有償運送の講習を一度受ければ、更新は必要ない。しかし、定期的に社内で研修を行うことが望ましいと考える。

【船戸委員】 料金体系について、先程タクシー料金に連動しているとの話があった。制度の概要を伊勢谷専門官にお伺いしたい。

【伊勢谷専門官】 料金体系については、原則法人タクシーの 8 割以下で設定している。制

度上は、タクシー運賃に連動するので、値上げできるが、利用者の負担が増えることを理由に値上げしないことも考えられる。

【落合委員】 運転手の研修体制について質問したい。利用者の急病が発生した場合の対応について適正な研修が実施されているか確認したい。

【磯部委員長】 伊勢谷専門官に問いたい。ふらっとについて、登録している会員が0人となっているが、旅客の範囲も特定の範囲で更新されている。こういった状況で更新が可能か。

【伊勢谷専門官】 通常、登録会員がなければ更新は考えづらいが、本協議会で協議が整えば差し支えない。ただし、想定される利用者がいるのであれば会員登録しておくことが望ましい。

【安藤委員】 資料をみると、現況はけやき福祉会のみが実施している。けやき福祉会に対して、けやき福祉会の施設サービス利用者以外の受け入れが可能な状況か確認したい。

(サポートセンターふらっと 入室)

【磯部委員長】 料金について、12月に法人タクシーの運賃が値上げするが、申請された料金体系で問題ないか。

【ふらっと】 当事業所は、特定非営利活動法人であるという性格から、福祉有償運送によってかならず利益を得なければならない考えはない。現在の料金で運営上問題ないと判断している。

【磯部委員長】 会員名簿の登録者がいないが、これから登録する会員はどういった方を想定しているか。

【ふらっと】 現在登録はないが、以前は別事業の利用者が福祉有償運送も利用していた。今後、別事業の利用者が再度福祉有償運送の会員になることを想定している。また、無償で家族が送迎できない利用者を輸送した事例もある。

【磯部委員長】 職員の研修について、昨年度は実施されていないようだが、更新登録するなら定期的に実施する必要はないか。

【ふらっと】 今後は実施する。

【磯部委員長】 運送中の急病人の対応について、どういった対応をしているか。

【ふらっと】 利用者以外にも同乗してもらうので、同乗者の意向を確認し対応する。

【奥村副委員長】 先程、無償で輸送した事例があると説明があったが、福祉有償運送を活用しないのであれば更新する必要があるか。会員登録があった場合に再度事業登録すればよいのではないか。また、会員がいないのに旅客の範囲が特定されているのはなぜか。

【ふらっと】 利用希望がある場合にすみやかに対応できるよう、再登録ではなく更新したい。旅客の範囲は、以前の登録会員をもとに設定した。

【奥村副委員長】 そうであるなら、想定される利用者を登録しておくべきではないか。

【ふらっと】 意見を受けとめる。

(サポートセンターふらっと 退室)

(けやき福祉会 入室)

【磯部委員長】 料金について、12月に法人タクシーの運賃が値上げするが、申請された料金体系で問題ないか。

【けやき福祉会】 このタイミングで値上げすると利用者の理解が得られない。次回更新時までに検討したい。

【磯部委員長】 運送中の急病人の対応について、どういった対応をしているか。

【けやき福祉会】 基本的には訪問ヘルパーが同乗している。急病人が発生した場合は、本部の判断を確認のうえ対応するよう研修で徹底している。

【磯部委員長】 けやき福祉会の施設サービスを利用していない人も受け入れは可能か。

【けやき福祉会】 受け入れは行っているが、運転手の人員配置等に限界があるため、当会の利用者に支障がない範囲で利用条件があった場合に限る。

【磯部委員長】 実施されている研修について、どういった内容なのか。

【けやき福祉会】 乗車前の日常点検、危機察知トレーニングや乗車時の行動に対するシミュレーション、事故時の対応等の研修を行っている。運転手は年5回、それ以外の職員は年1回、運転に対する研修を実施している。

(けやき福祉会 退室)

【磯部委員長】 2事業者の更新について協議が調ったこととし、議題を終了する。

なお、ふらっとについては、2点条件をつける。

- ・想定される利用者について会員に登録すること。
- ・定期的に安全・運行管理等に関する研修を実施すること。

議題は以上であり、これで会議を終了する。

上記のとおり、令和7年度春日井市福祉有償運送運営協議会の議事の経過及びその結果を明確にするため、この議事録を作成し、委員長及び副委員長が署名する。

令和8年1月5日

委 員 長 磯部 友彦

副 委 員 長 奥村 薫績